



令和2年 7月 1日 発行

学校だより 7・8月 358号

横浜市立六つ川西小学校 (TEL) 742-6301 (FAX) 743-2394

URL <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawanishi/>

子どもの「主体的な力」を育むバランスカ

学校長 稲葉 靖

学校では、教室のこまめな換気の徹底や、咳エチケット、マスク指導の徹底と共に感染症対策を講じながら、新学習指導要領に示されている主体的・対話的で深い学びの実現を目指しての授業改善について試行錯誤を繰り返しながら、学校再開後の1ヶ月間を過ごしてきました。

まだまだ、コロナ禍が消えない中、7月からは、給食を含む第三期の段階的な教育活動に移行します。

子どもたちの夏休み期間も大幅に短くなった今、あらためて、学校や家庭の役割について考えます。

子どもたちは、学校が長期休みになれば、今までできなかったことも「あれをやりたい」「これをやりたい」「ずっと好きな本を読んでもらいたい」「好きなスポーツも・・・」など、これまでは、生き生きと過ごしてきたはずですが。

しかし、この臨時休業期間中は、感染拡大防止の観点から誰もが行動を制限され、特に好奇心にあふれた子ども本来の良さを伸ばすことが難しい状況でした。

学校からの課題が用意され、テレビやインターネットを通じた動画配信型授業を利用できる環境はありましたが、それを使い「もっと知りたい」と興味をもつ体験も無いまま、指示がなければ何もできない、指示があってもやる気がしないという子どもたちが増えてしまったのではないかと心配します。

今、世の中には「第2波」を想定して、オンライン授業の早期実現を望む声が上がっています。

現状を鑑み、オンライン授業をツールとして利用することは、有効です。ですが、「学び」の根源は、子どもが「興味・関心」をもち、そこから「もっと知りたい」と「意欲」をもつことです。

行動が制限される中でも、如何に子どもたちが多くのことに「興味・関心」をもつ環境を提供できるか、私たち大人の力量が問われます。

保護者の皆様が体験してきたことを話してみたり、子どもが今、好きなことを一緒にインターネットで調べてみたりと、日常のコミュニケーションを彫り下げるなどの「きっかけ」を大人たちがつくることで、子どもたちにも興味がわき、そこから子ども同士の「対話と協働」につながっていくと考えます。

六つ川西小学校の今年度の重点研究テーマは、「対話的な学び」です。

「知識を与えることだけに偏らず、オフラインとオンラインのバランスを保ちながら、子どもの主体的な力を育ていくバランスカ」が全ての大人に、そして学校や家庭での子どもの過ごし方にも求められているのだと思います。

【安全な登下校と自転車走行について】

◎7月より下校時刻が異なります。

通学路の安全な歩き方と共に危険箇所、気象条件や時間帯による危険、放課後や休みの日の安全な自転車の乗り方等について、お子様とご確認ください。



◎開校記念日は6月1日ですが、今年度は22日に開校記念の朝会を行いました。

PTAから熱中症予防の「冷感タオル」が贈られました。

